



名古屋城 子ども博士になろう



ワークシート「櫓・城門」編

櫓や城門はどのような工夫がされているのでしょうか

() 年 () 組 名前 ()

1 名古屋城には、現在、いくつかの隅櫓が残っているでしょう。□に記号を書きましょう。

A.1 B.3 C.5

答え

B

2 () の中であてはまる言葉を入れて、文章を完成させましょう。

名古屋城には、他の城の天守級の大きな隅櫓があります。一番大きな隅櫓は

(御深井) 丸にある (西北) 隅櫓で、清須櫓とも呼ばれています。

本丸にある三つの隅櫓は (多門櫓) でつながれていて、天守と合わせて、厳重に本丸を囲み、守っていました。

※(西北)隅櫓:(御深井丸戌亥)隅櫓も可

3 名古屋城の門は、枡形といって、入ってきた敵を周りから攻撃できるようになっていました。() の中に正しい数字を選んで書きましょう。

1



いちのもん
一之門

2



たもんやぐら
多門櫓

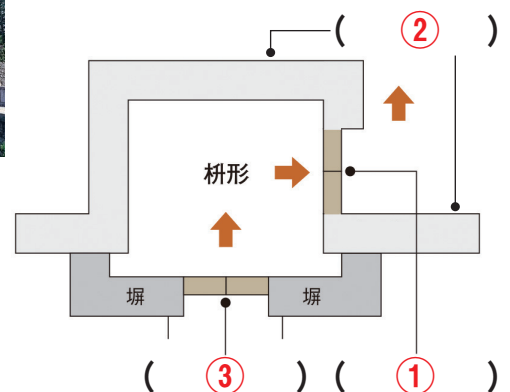
3



にのもん
二之門



し かくけい かこ
四角形で囲まれているね。



4 名古屋城の櫓や門のつくりを見て思ったことを書きましょう。

・敵に攻めてこられないよう、しっかりと守られていた。

・堀や石垣だけでなく、隅櫓や多門櫓で囲まれていた。

・今はないけれど、たくさんの櫓や門が名古屋城にはあった。

・どこにあったのか、名古屋城へ行って確かめてみたい。 など